

3 仲間に入る

SST 指導者(教師)

ポイント

ウォーミングアップ

こんにちは。
これから、ソーシャルスキル・トレーニングを始めます。
少し体を動かしてみましょう。
まずは首を回します。
みんなでいっしょにやってみましょう。

子どもが、これから始める SST に楽しく参加できるように、学級の実態に合わせてゲームや話をしてウォーミングアップをします。みんなが穏やかな気持ちでトレーニングに参加できるようにしましょう。

モチベーション

休み時間に友だちと遊ぶ時、校外学習などでお弁当を食べる時、グループを作る時に、仲間に入ることを言い出せなくて、困ったことはありませんか。

「仲間に入る」について、その難しさなど、子どもの実態に合わせて確認します。

友だちと一緒に遊ぶために仲間に入る時にはどんな言い方がありますか※1

※1 「いろいろな言い方」を例示したり、子どもが発言するように促したりしましょう。



いろいろな言い方がありますね。

(例) 「いっしょに遊ぼう(〇〇しよう)」

「私もやりたい」「仲間に入れて」

「私も入りたいのだけどいいかな」

モデリング



二つの場面をやってみますね。※2

※2

1回目: 何も言えず黙っている様子。

もじもじして言い出せない。

(よくないモデル)

2回目: 「私もやりたいから一緒にやらせて!」

優しく、相手を見て、笑顔で。

(よいモデル)

1回目と2回目はどのように違いましたか? ※3

ポイント
表情: 明るい笑顔
声: はっきり
目線: 目線を合わせて
姿勢: 相手に向けて
身振り手振り

よくないモデルとよいモデルを示して違いに気付くことができるようにします。

※3 表情や目線、姿勢や身振り手振り等、子どもの気付きを共有しながら、仲間に入る時のポイントを確認します。ポイントは板書や模造紙に残し、確認できるようにしましょう。

ロールプレイ



順番に2回目のような言い方を練習しましょう。※4



※4 練習でも子どもは緊張します。心の準備ができた子どもから取り組ませ、担任がほめることで、温かな雰囲気をつくりましょう。

入れてと言われたら「いいよ」と仲間に入れる温かい気持ちをもつことが大切ですね。※5

※5 一人一人のロールプレイの後によいところを伝え、フィードバックを行うことで、意欲も高まります。

(例) 優しい言い方でしたね。

〇〇さんを見ていましたね。

笑顔でお願いしていましたね。

上手に仲間に入る言い方ができた友達に拍手を贈りましょう。

チャレンジ



上手に言えるようになりましたね。
これから、上手にできたときに、先生に教えてくださいね。上手な言い方ができた友だちを見つけたときも、教えてくださいね。※6 ※7

※6 取り組んだことを認め、励ますとともに、継続して取り組むことが重要です。

※7 できないことを指摘するのではなく、練習して、できたことをほめることで、よりよいコミュニケーションの意欲付けを図り、子どもの健やかな成長につなげていきましょう。

振り返り・価値付け

数日後



皆さん、上手に仲間に入ったり、友だちを仲間に入れたりできていますか。※8

※8 数日後に、振り返り、確認して日々の取組を価値付け、励ましましょう。

※ 「仲間に入れて」と言われた時に、安心して仲間に入ることができるような答え方のソーシャルスキル・トレーニングもセットで扱うことができるようにしましょう。低学年は「まぜて」「いいよ」を繰り返し体験することも効果的です。次のトレーニングの題材として扱ってみましょう。